

春の散歩道

野川大橋から野草園へ

今年は桜の開花が例年になく遅かったせいで菜の花の黄色と桜の淡い桃色をいっしょに楽しむことができた。
野川のソメイヨシノが終わったあと、もあちこちで八重桜やヤマザクラを楽しむことができる。祇園寺の前を右へ曲がると湧水の流れる佐須用水にはクレソンの花や調布ではめずらしいミクリを見ることが出来る。
その先、道を渡って柏野小の横を抜けると別天地のような国分寺崖線の緑が広がる。



神代農場隣接地の広場に咲く
ムラサキサギゴケ



野草園前の斜面に咲くカタクリ



カタクリが終わる頃
可憐なワダソウが花開く



桜が咲き始めたカニ山の眺め

野草園

深大寺自然広場
通称カニ山



東樹林のウグイスカグラ



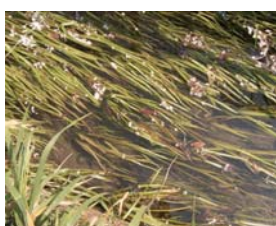
田んぼのコオニタヒラコ
これが春の七草のホトケ
ノザだといわれている



キツネアザミ



佐須用水のクレソン



佐須用水のミクリ
初夏になるとクリの
イガのような花が咲く

湧水の流れる
佐須用水

田んぼの水路



田んぼのレンゲ



野川大橋



野川の菜の花(セイヨウカラシナ)と桜(ソメイヨシノ)

ちょうふあちこち

植物多様性センター

4月28日 神代植物公園植物多様性センターがオープン。これからの植物園はめずらしい花などを観賞するだけでなくモニタリング研究をはじめ絶滅危惧種の保存にも力を入れるとのこと。情報館と学習園として一般の方が東京の植物や植物

多様性について学べる施設になった。学習園は奥多摩、武蔵野、伊豆諸島のゾーンに分かれて植物の野外展示がされているが中身の充実はまだまだこれからといったところ。何人かのボランティアが募集され、今後の活躍が期待される。



佐須の田んぼ

4月29日 カニ山奥の谷戸から湧き出る水を利用しての佐須の田んぼ。昔は利用する人たちが集まって組合を作り、共同で管理することが行われていた。「田んぼの学校」でも感謝の意を込めて、水路の清掃活動。



花の履歴⑭

戸部英貞 (絵・文)

ヤセウツボ (瘦藨)

ハマウツボ科



Orobanche minor J.E.Smit L.

帰化植物のヤセウツボは見かける機会が多い。この仲間（ハマウツボ科）の種子は微細で大量に出来るが、寄主となる植物の根に触れなければ発芽のチャンスに恵まれず、根に付

着したものだけが発芽するため、放散した種子の大半は無駄になってしまう。多摩川では寄主となるシロツメクサやアカツメクサがどこにでも生えており、飛散した種子が寄主との出会いを容易にしているだけでなく、さらにヨモギに寄生しているものもあり、そのほかのキク科やセリ科にも寄生するようだ。

寄生植物は特定な寄主を限定するものが多いの中、ヤセウツボは多様な種類の植物を宿主に選んだことが、生活圏を拡げている一つの要因だろう。寄主の根に出逢えなかった種子の寿命がどのくらいあるのか判らないが、耕作地に侵入して被害を被らないよう観察していきたい。

我が国にもハマウツボ科の植物がいくつも自生しているが、自然界でその姿に出会うことは至難の業だ。それに比べ、ヨーロッパから北アフリカを原産とする

おいしいお話。

文 小豆畑耕一



調布の春を食べる

今年の冬は例年になく寒く、春が来るのが本当に待ち遠しかったのですが、今年（4/19）では桜も散り新緑が薄く色づき始め、初夏へと季節は移るのを見えています。調布の自然は私たちに様々な恩恵と楽しみを与えてくれますが、その一つに季節を感じさせる食べ物がありません。特に春は植物が芽吹き、人だけでなく鳥や昆虫もその恩恵にあずかります。今年最初に食した野草はフキノトウです。フキノトウは二回芽を出します。

させてくれます。ただフキノトウは商品価値が高いのでやたらに採取することはできません。しかし調布には多くの野菜の無人スタンドがあります。そこではスーパードなど比較すると格段に安く入手することができ、家の食卓を賑わせてくれました。メニューは定番の天ぷらや、ふき味噌がありますが、私の家ではピザで楽しむことが多いのです。調理法は至って簡単で、市販（手作りでも）のピザ生地には味噌を味付けしたもの、ソースにします。ソースを塗った生地にフキノトウをざく切りにしたもの、乗せ、その上にたつぷりのチーズをまぶし、後はオーブントースターで四分程焼くだけです。このピザは本当に絶品で、口に入れると春が存分に香り至福の一時を演出してくれます。

ヤブカンゾウもヌタにすると苦さが春を感じさせてくれます。これは家の狭い庭に移植したものが毎年芽を出してくれます。このほかにも天ぷらにして美味しいのがタラの芽、ミツバ、ハルジオン、クズ、セリなどがあります。ただくれぐれも他人の畑や敷地で採取しないように。

3月11日（日）参加者14名

昨年増設された緑地には陰樹の低木が多く、アオキの退治に悪戦苦闘しています。イネ科の雑草が目立ち始め、草刈りにも専念する必要があります。大忙しです。

3月22日(木) 参加者2名
4月8日(日) 参加者13名

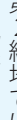
新メンバーのオリエンテーションを兼ねて、参加者全員で緑地内の観察。参加者から『落ち葉が多い』、『昨年増設された緑地の桜の木の保護が必要』、『実生のコナラの幼木の保護が必要』などの意見がでました。

若葉の森 3・1 会

3月4日(日) 曇り 参加者7名

第一緑地ではコンポスト柵の補強を行いました(写真)。また、通り道の落ち葉かきを行い、歩きやすくしました。

第2緑地では、繁茂するシュロ、アオキ、竹を伐採し、その竹を利用して第一緑地との間の通路を整備しました。



なお、陽光が林床に届くように、高木の枝落しを調布市に依頼しました。

4月1日(日) 晴れ 参加者12名

シュンランが咲きました（写真右下）。たけのこが2本顔を出していました。強風で折れ、飛び散った小枝を集めました。



春もたけなわで、 tachitsubosmire、ノ
ゲシ、ホトケノザ、タンポポ、ヒメオドリ
コソウ、カタバミ、ヤブヘビイチゴ、オオ
イヌノフグリ、キュウリグサ、タネツケバ
ナの花々が観察できました。

4月19日(木) 参加者6名

4月19日（木）参加者6名

イネ科の雑草とアズマネザサ刈り。昨年発芽しなかったホタルブクロが、芽を出したので踏みつけられないように、竹の柵で囲む。ムラサキケマンも咲き、コゲラが近くで『ギー　ギー』と鳴いていました。



みんなで力を合わせて

前回の作業を今回も継続して行いました。

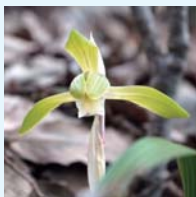
また、新たに第2緑地内の周遊通路や西側の通り道を整備しました。

4月初旬 桜が

咲きました。

楽しみにしていた、西の境にある山桜が、4月初旬に見事に咲いてくれました（写真）。

見えやすくなるように昨年から両側の小木を切り取るなど桜の下周りを整備してきた甲斐がありました。(K)



入間・樹林の会

3月18日（日）参加者5名

大風の影響を調べ、折れているマテバシイの枝の片づけ、マテバシイの広場のスタッキングの山の片づけと釘のでている落ち葉ため柵の撤去を行いました。マテバシイの生木は重く男性2人で苦闘していました。民家方向に倒れているマテバシイの伐採の確認をし、優先順位をつけました。入口付近のシロダモ、アオキを伐採しヤマブキの開花がみえる。



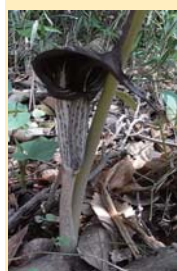
4月15日（日）参加者9名
 方形枠調査とツバキの森の伐採枝の4か所のうち2か所を片づけ少しすっきりしました。根本さんからは、ヤマユリの葉をみつけたが光が少ないのでシラカシの枝をきり様子をみる、春の植物の開花が遅れているが、キランソウを久しぶりに確認したとの報告がありました。NTTから移植したニリンソウの他シャガ、ウラシマソウ、ヤマブキ、ムラサキケマン、ヤブニンジン、ツボスミレ、タチツボスミレ、ヤブタバコ、アオキの花が観察できました。鳥はスズメ、シジュウカラ、メジロ、ヒヨドリを確認しました。（安部）

4月15日（日）参加者9名

方形桿調査とツバキの森の伐採枝の4か所のうち2か所を片づけ少しすっきりしました。根本さんからは、ヤマユリの葉をみつけたが光が少ないのでシラカシの枝をきり様子をみる、春の植物の開花が遅れているが、キランソウを久しぶりに確認したとの報告がありました。N.T.Tから移植したニリンソウの他シャガ、ウラシマソウ、ヤマブキ、ムラサキケマン、ヤブニンジン、ツボスミレ、タチツボスミレ、ヤブタバコ、アオキの花が観察できました。鳥はスズメ、シジュウカラ、メジロ、ヒヨドリを確認しました。(安部)



ネズミが食べた？



ウラシマソウ

力
ニ
山
の
会

3月10日(土) 雨 参加者8名

たづくりにて打ち合わせ

今回もちょうふ環境市民会議とのコラボ企画で、前回まいいたドングリの発芽と東樹林等の実生木を合わせ5月13日に植樹イベントを行う予定。子供たちと竹の名札づくり、昼のお楽しみ会もする。また植樹地には一般市民向けに案内板を設置したい。

今年度の維持活動としては生態系を考慮し草刈りの程度を区分して管理したい。定例活動日に2回の草刈りイベントを予定、スイカ割等も実施する。

4月14日(土)雨 参加者7名

たづくりにてイベント打ち合わせ

4月22日(日)臨時活動 参加者5名
通常より早い9時に集合、シユ口の伐採



ムサシアブミ

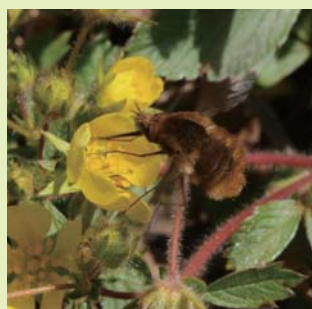


雑木林の恵み
手作りクラブ

ちょうふの自然 みつけた!

メーリングリストより

4/9 野川自然観察園でキジムシロの黄色い花が見事に咲いている株を見つけてレンズを向けていると、上手にホバリングしながら角状の口吻を差し込んで吸蜜する小さな虫が飛び込んで来ました。ハチドリとか、クマバチ、ホウジャクは写真で見えて知ってましたが、これはもっと小さく、ふさふさした毛に覆われ一角獣のような長い口吻を持っています。記録し、帰ってネットで調べてみると、ピロウドツリアブという春先にだけ現れるアブの仲間らしいのですがどうでしょう。



ピロウドツリアブ

◆まさしくピロウドツリアブですね。これを見ると、もう春だなあと実感します。
このほかによくタンポポの花で见かける春らしい昆虫としては、モモブトカミキリモドキという小型の甲虫がいます。一見カミキリムシみたいですが、羽が軟らかい点が違います。雄のモモが太くなっているのが名前の由来で、これも春先に限って出現するので、今時分、注意してみてください。(I)

調布で摘み草 でできるかな?

多くの方は春先にヨモギのお団子を作った経験があると思う。野草の観察をするようになってカンゾウやカキドオシなど様々な野草がたべられることを知ったがヨモギ・ツクシ以外の野草を食べられるほど手に入れるのは気も引けるし、なかなかむずかしい。野川に咲く菜の花も、知人がちよつと摘んでいた「せっかくきれいな花が咲くの、そんなことしないで」と通りすがりの方に叱られたとか。それでも春の醍醐味、上手に利用したい。(直美)

カキドオシの花を散らした
ミニサラダ。
佐須用水のクレソンの花を
飾って。



環境市民活動スケジュール

入間・樹林の会

原則毎月第3日曜に樹林の保全活動を行っています。参加希望者は直接入間地域センターへ。

●5/20(日) 9:30～12:00
●6/17(日) 9:30～12:00

カニ山の会

毎月第2土曜に自然広場で保全活動を行っています。野草園横直接集合

●5/12(土) 10:00～12:00
●6/9(土) 10:00～12:00

※5月13日(日) 10:00～15:00は「ドンダリの森づくりパート3」植樹祭を開催します。参加申込、問い合わせは環境政策課 042-481-7086

若葉緑地の会

原則毎月第2日曜と次の木曜に若葉町3丁目第3緑地で保全活動を行っています。参加希望者は直接現地へ。

●5/13(日)・24(木)
●6/10(日)・21(木)

9:30～12:00

伐採したスギの
年輪 60本



若葉の森3・1会

原則毎月第1日曜に若葉町3丁目第1・2緑地で保全活動を行っています。参加希望者は直接現地へ。

●5/6(日) 9:30～12:00
●6/3(日) 9:30～12:00

◆活動への参加、その他は緑と公園課へお問合せ下さい。042-481-7083

市民発 ちょうふの自然だより

◆「ちょうふの自然だより」はカンパとボランティアで支えられています。2009.3.15に設立された市民団体「ちょうふ環境市民会議」が発行しています。隔月で1000部発行。調布市内の身近な自然情報や市民の保全活動の記録、環境イベント案内、コラムなどを掲載。市民会議ホームページにバックナンバーを掲載しています。併せてご覧下さい。

◆「自然だより」の置き場所:地域福祉センター、たづくり11F みんなの広場、調布市環境部(市役所8F)、市図書館10館、あくろす2・3F、郷土博物館、実篤記念館、多摩川自然情報館のほか、ぬくもりステーション、野菜食堂みさと屋さんなど。置き場所&応援カンパ募集中です!

発行: ちょうふ環境市民会議 連絡先: info@chofu-kankyo-shimin.org

◆この自然だよりは ちょうふ環境市民会議ホームページにも掲載しています◆